

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社ダスキン

コード番号 4665 URL <http://www.duskin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山村 輝治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 鶴見 明久

TEL 06-6821-5071

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	90,228	△3.9	6,505	6.8	7,233	△1.0	3,182	14.8
21年3月期第2四半期	93,862	—	6,090	—	7,304	—	2,772	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	47.61	—
21年3月期第2四半期	41.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	194,656	144,680	73.9	2,151.59
21年3月期	194,653	143,322	73.2	2,130.52

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 143,806百万円 21年3月期 142,401百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,000	△1.4	9,500	△22.8	11,000	△24.1	6,000	△7.1	89.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 67,394,823株 21年3月期 67,394,823株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 557,625株 21年3月期 555,885株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 66,837,776株 21年3月期第2四半期 67,251,869株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想に関しましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）における我が国の経済は、回復の兆しが見えつつも、依然として下振れリスクを抱えたまま推移し、大変厳しい状況が続きました。企業収益が悪化する中、事業所向けサービスでは厳しい市場環境が続き、また、雇用情勢、所得環境が悪化しており、フードサービスを含む一般ご家庭向けサービスも厳しい状況でした。

当社は、お客様の声を聞き、お客様視点に立ったサービスを提供することに注力して参りましたが、厳しい経済状況の影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。しかしながら、コスト削減に力を注ぎ、営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、連結売上高902億28百万円（前年同期比3.9%減）、連結営業利益65億5百万円（前年同期比6.8%増）、連結経常利益72億33百万円（前年同期比1.0%減）、連結四半期純利益31億82百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

[事業の種類別セグメント毎の状況]

(1) 愛の店関連事業

当社の基幹事業であるクリーンサービス事業を中心とする訪問販売事業においては、お客様窓口の一本化（ネットワーク計画）を進めると共に、全国加盟店の担当エリア毎に、すべての事業でお客様のご要望にお応えできるよう、地域に根ざした小商圏での営業活動に注力致しましたが、家庭市場、事業所市場とも売上は減少しました。

家庭市場は、新規顧客の獲得は依然として低水準に留まりましたが、ミスタードーナツパスカード（一定期間ミスタードーナツで使用できる割引カード）の既存顧客への配布等の施策が功を奏し、解約件数は前年同期を下回り、売上の減少幅は前期の下半期に比べ縮小しております。しかしながら、主力であるモップ商品をはじめとして、殆どの商品群で前年同期の売上を下回る結果となりました。

事業所市場は、昨秋以降、売上減少が続いており、主力のマット商品、空気清浄機商品等の売上が減少しましたが、インフルエンザが流行したことにより、衛生除菌関連商品の売上は前年同期を上回りました。

ヘルス&ビューティ事業は、健康食品の売上は好調に推移しましたが、化粧品売上が横這いに留まり、全体の売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、愛の店関連事業の売上高は504億31百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は99億1百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

(2) フードサービス事業

ミスタードーナツ事業は、前期から引き続きバラエティ感とお手ごろ感を訴求して参りました。株式会社モスフードサービスとのコラボレーション商品の発売や共同キャンペーン、5月に実施した17種類のドーナツの一斉新商品入れ替え等の施策により第1四半期が好調であったことから、第2四半期累計期間は順調に推移し、お客様売上は前年同期を上回り、原材料売上、ロイヤルティ売上とも増加しました。しかしながら、第2四半期には、夏場の天候不順等の影響もあって、来店お客様数の増加に陰りが見え始めると共に、お買い上げ個数減少によりお客様一人当たりの売上も第1四半期に比べ減少しました。

その他のフードサービス事業は、来店お客様数の減少による既存店の低迷に加え、不採算店舗の閉鎖に伴う店舗数の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、フードサービス事業の売上高は257億71百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は20億円（前年同期比42.5%増）となりました。

(3) ケアサービス事業

ケアサービス4事業（サービスマスター、メリーメイド、ターミニックス、トゥルグリーン）は、接客マナーや技術の向上を図ると共に、定期的にご利用いただくお客様作りに徹底して取り組んでおり、メリーメイドは前年同期並みの売上を確保しました。しかしながら、サービスマスター、ターミニックス、トゥルグリーンの事業所用サービスで景気低迷の影響を受けており、特にサービスマスターの事業所用メニューのお客様売上が前年同期を下回ったことを主因として4事業全体ではお客様売上が減少し、ロイヤルティ売上が減少する等、売上高は前年同期を下回りました。

高齢者支援サービスのホームインステッド事業（公的介護保険制度ではないプライベートサービス）は、お客様売上は順調に増加しロイヤルティ売上は増加しました。しかしながら直営店が減収となり、その結果事業全体の売上高は減少しました。

病院施設のマネジメントサービスの株式会社ダスキンヘルスケアは、前期中の新規顧客獲得により、前年同期に比べるとサービス提供施設数が増加し、また提供サービス数も増え、売上高は前年同期を上回りました。

その他、株式会社ダスキンゼロケアで展開しておりました介護保険法による介護サービス事業を、平成21年4月1日に株式会社ニチイ学館へ事業譲渡した影響もあり、ケアサービス事業の売上高は92億39百万円（前年同期比12.0%減）、営業損失は3億20百万円（前年同期の営業利益は56百万円）となりました。

(4) その他事業

レントオール事業は、介護関連用品のレンタルを行うヘルスレント店は順調に推移しましたが、景気低迷からくる法人顧客の経費削減やイベント数の減少でレントオール店（イベント用品や日用品等のレンタル）のお客様売上が減少した結果、事業全体では、お客様売上は微増、ロイヤルティ売上も微増となりました。しかしながら直営店は、不採算店の統廃合による店舗数の減少で売上が減少し、事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

その他では、ユニフォームサービス事業はほぼ前年同期並み、ドリンクサービス事業、リース事業のダスキン共益株式会社は、前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、その他事業の売上高は47億86百万円（前年同期比7.3%減）、営業損失は1億円（前年同期の営業利益は79百万円）となりました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、1,946億56百万円となりました。前連結会計年度末（以下「前期末」という）と比較して2百万円増加しております。その要因は、短期資金運用等の有価証券が11億40百万円増加したことや、現金及び預金が9億39百万円増加したことに対して、受取手形及び売掛金が12億82百万円、繰延税金資産が10億11百万円減少したこと等であります。

負債合計は499億75百万円となり、前期末と比較して13億55百万円減少しております。その要因は、未払法人税等が20億49百万円、賞与引当金が7億45百万円増加したことに対して、未払金が25億3百万円、買掛金が8億97百万円減少したこと等であります。

純資産合計は1,446億80百万円となり、前期末と比較して13億58百万円増加しております。その要因は、投資有価証券の時価の回復によりその他有価証券評価差額金が8億43百万円及び四半期純利益31億82百万円と剰余金の配当26億73百万円との差引等により利益剰余金が5億8百万円増加したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）通期の業績予想に関しましては、平成21年5月15日に公表致しました従来の予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,780	20,841
受取手形及び売掛金	11,366	12,649
リース投資資産	1,824	1,794
有価証券	9,491	8,351
商品及び製品	6,782	5,859
仕掛品	147	158
原材料及び貯蔵品	1,861	1,755
繰延税金資産	2,593	2,232
その他	2,112	1,804
貸倒引当金	△80	△221
流動資産合計	57,881	55,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,549	37,754
減価償却累計額	△20,776	△20,365
建物及び構築物（純額）	17,772	17,388
機械装置及び運搬具	20,843	20,759
減価償却累計額	△13,622	△13,576
機械装置及び運搬具（純額）	7,220	7,182
土地	23,545	23,559
建設仮勘定	916	1,168
その他	13,067	13,610
減価償却累計額	△9,602	△9,666
その他（純額）	3,465	3,944
有形固定資産合計	52,920	53,244
無形固定資産		
のれん	426	577
その他	5,892	5,941
無形固定資産合計	6,319	6,519
投資その他の資産		
投資有価証券	59,172	59,348
長期貸付金	169	183
繰延税金資産	7,491	8,864
差入保証金	9,712	10,204
その他	1,203	1,137
貸倒引当金	△214	△74
投資その他の資産合計	77,535	79,663
固定資産合計	136,775	139,426
資産合計	194,656	194,653

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	6,858	7,756
1年内返済予定の長期借入金	137	175
未払法人税等	2,604	554
賞与引当金	3,732	2,986
ポイント引当金	562	565
未払金	5,452	7,956
レンタル品預り保証金	11,037	11,281
その他	3,369	4,171
流動負債合計	33,755	35,447
固定負債		
長期借入金	5,924	6,065
退職給付引当金	9,123	8,580
役員退職慰労引当金	14	59
債務保証損失引当金	180	146
長期未払金	140	142
長期預り保証金	825	844
負ののれん	—	43
その他	11	2
固定負債合計	16,220	15,884
負債合計	49,975	51,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,352	11,352
資本剰余金	13,076	13,076
利益剰余金	122,378	121,869
自己株式	△846	△843
株主資本合計	145,960	145,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,740	△2,583
繰延ヘッジ損益	△38	△26
為替換算調整勘定	△375	△442
評価・換算差額等合計	△2,154	△3,052
少数株主持分	874	920
純資産合計	144,680	143,322
負債純資産合計	194,656	194,653

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	93,862	90,228
売上原価	52,669	49,433
売上総利益	41,192	40,795
販売費及び一般管理費	35,102	34,290
営業利益	6,090	6,505
営業外収益		
受取利息	525	362
受取配当金	175	118
設備賃貸料	559	557
受取手数料	110	124
負ののれん償却額	86	43
営業権譲渡益	5	5
雑収入	429	322
営業外収益合計	1,892	1,534
営業外費用		
支払利息	51	39
設備賃貸費用	167	166
たな卸資産評価損	24	—
たな卸資産廃棄損	5	—
持分法による投資損失	371	451
雑損失	57	148
営業外費用合計	678	806
経常利益	7,304	7,233
特別利益		
固定資産売却益	1	43
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	11	3
損害賠償金収入	—	57
その他	18	45
特別利益合計	32	149
特別損失		
固定資産売却損	11	4
固定資産廃棄損	103	356
減損損失	89	96
投資有価証券売却損	—	7
投資有価証券評価損	1,613	516
関係会社株式売却損	—	86
債務保証損失引当金繰入額	67	33
その他	43	18
特別損失合計	1,929	1,120
税金等調整前四半期純利益	5,407	6,263
法人税等	2,702	3,101
少数株主損失(△)	△67	△20
四半期純利益	2,772	3,182

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

(単位：百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,808	25,392	10,499	5,161	93,862	—	93,862
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	0	26	1,475	1,510	(1,510)	—
計	52,817	25,392	10,525	6,637	95,373	(1,510)	93,862
営業利益	9,640	1,403	56	79	11,179	(5,089)	6,090

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

(単位：百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	50,431	25,771	9,239	4,786	90,228	—	90,228
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	0	29	1,360	1,390	(1,390)	—
計	50,432	25,771	9,268	6,146	91,619	(1,390)	90,228
営業利益又は営業損失 (△)	9,901	2,000	△320	△100	11,481	(4,976)	6,505

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。